

平成22年第1回後期高齢者医療広域連合議会（定例会）の結果

1 議員の出欠 出席56人（欠席16人）

2 議事の概要

（1）広域連合議員提出議案

- ・原案可決 1件

議案第1号	福岡県後期高齢者医療広域連合議会会議規則の一部改正について
-------	-------------------------------

（2）広域連合長提出議案

- ・原案承認 2件

承認第1号	平成21年度福岡県後期高齢者医療広域連合一般会計補正予算（第2号）
承認第2号	平成21年度福岡県後期高齢者医療広域連合後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）

- ・原案可決 7件

議案第1号	平成21年度福岡県後期高齢者医療広域連合一般会計補正予算（第3号）
議案第2号	平成22年度福岡県後期高齢者医療広域連合一般会計予算案
議案第3号	平成22年度福岡県後期高齢者医療広域連合後期高齢者医療特別会計予算案
議案第4号	福岡県後期高齢者医療広域連合職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正について
議案第5号	福岡県後期高齢者医療広域連合職員団体のための職員の行為の制限の特例に関する条例の一部改正について
議案第6号	福岡県後期高齢者医療広域連合後期高齢者医療制度臨時特例基金条例の一部改正について
議案第7号	福岡県後期高齢者医療広域連合後期高齢者医療に関する条例の一部改正について

（3）議案質疑 2件

	氏名	市町村	要 旨
1	荒川 徹	北九州市	議案第3号 平成22年度福岡県後期高齢者医療広域連合後期高齢者医療特別会計予算案
			このたび就任された檜原広域連合長に、平成22年度の予算編成にあたり本制度に関する所感を尋ね

			<p>る。</p> <p>制度創設前との比較において、高齢者の受診抑制はないのか尋ねる。</p> <p>高齢者の負担増を回避するため、後期高齢者負担率の上昇による2.6%増加分に対する国庫補助が措置されていないことに関して、広域連合としての見解と、この間の対応について尋ねる。</p> <p>平成22年度における健診の受診目標と、その達成のための取り組みについて尋ねる。</p> <p>健診に対する福岡県の公費助成について、その後の福岡県との協議の進捗状況について、見解を求める。</p> <p>平成22年度事業に、はり・灸の検討に伴う措置は盛り込まれているのか、答弁を求める。</p> <p>平成21年度の保険料納付状況と、平成22年度における予定保険料収納率について、答弁を求める。</p> <p>高齢者の医療を確保するために、保険料滞納を理由に機械的な資格証明証の発行をしないよう求め、見解を尋ねる。</p> <p>保険料の負担を軽減するための更なる努力について</p> <p>資格証明書の適切な発行について</p>
2	伊藤 信勝	田川市	<p>議案第7号 福岡県後期高齢者医療広域連合後期高齢者医療に関する条例の一部改正について</p> <p>平成22年度の保険料の増加抑制策を再度、国県へ働きかけていただくことを要望する。</p>

(4) 反対討論

議案第3号 平成22年度福岡県後期高齢者医療広域連合後期高齢者医療特別会計予算案

反対討論の発言者：川上誠一議員（芦屋町）

(5) 一般質問 3件

	氏名	市町村	要 旨
1	川上 誠一	芦屋町	<p>後期高齢者医療広域連合設立に絡む贈収賄事件について</p> <p>贈収賄の動機とされる「議員定数」、「事務経費の負担割合」、「派遣される職員数」、「副連合長のポスト」を決定する際、公正、公平な審議がつくされたのか、またこの点について、調査したのか伺う。</p> <p>再発防止の対策はどのように考えているのか伺う。</p>

			<p>福岡県後期高齢者医療広域連合規約等に、「市町村議会への報告義務」、「議員定数の公平配分」、「75歳以上の高齢者の意思反映の仕組み」、「情報公開の徹底」などを織り込む考えはあるのか伺う。</p> <p>再発防止のためにも政治倫理条例を制定する必要があると思われるが、制定についての考えはあるのか伺う。</p>
2	中村 義雄	北九州市	<p>分賦金の均等割分について</p> <p>開始当初設定された均等割分2%について公正に決められたとは思えないが、広域連合長の見解を求める。</p> <p>均等割分は新聞報道によると全国47都道府県のうち40都道府県が10%とされていたが、現在の47都道府県の状況はどのようになっているのか伺う。</p> <p>当広域連合の平成22年度予算では均等割分は今年度同様7%となっている。開始時に不正が行われていたと思われること、また他都道府県のほとんどが10%であることから10%にすべきと考えるが、見解を求める。</p>
3	大西 勇	志免町	<p>1 県自治会館における今回の不祥事について</p> <p>後期高齢者医療制度は廃止となっている中、現在の議員定数は必要ないと思うが、どう考えているのか伺う。</p> <p>今回の不祥事について、後期高齢者医療広域連合の説明責任についてどう考えているのか伺う。</p> <p>2 資格証明書について</p> <p>被保険者証について、どのような取扱いを行うのか。さらに、国は、後期高齢者医療制度は廃止すると明言しているなか、資格証明書や短期被保険者証の発行はすべきではないと思うが、どう考えているのか伺う。</p> <p>3 現在の医療制度廃止に関わる影響と新しい制度への移行について</p> <p>平成24年度末をもって現在の制度が廃止され、新たな医療保険制度に移行される方針が出されているが、その新制度が高齢者にとって安心して医療が受けられるような制度となるよう、また被保険者の混乱や市町村の現場で混乱を出来るだけ起こさないよう、新連合長としての考えを伺う。</p> <p>4 保険料について</p> <p>健康長寿医療計画の中で、平成22年度から27年度までの5年間の高齢者医療費や被保険者数がシュミレーションされているが、今回1人あたりの保険料が4.94%のアップとなっている。</p> <p>今回は平成22年度から23年度の見直しとなっており、</p>

			最終年度の平成 24 年度にもう一回見直しがあると思うが、どのくらいの増加を想定されているのか。総体的な対策はあるのか伺う。
--	--	--	--

(6) 請願

請願第 1 号 後期高齢者医療制度に関する請願

請願者：福岡市博多区博多駅前 1 丁目 19-3 博多小松ビル 2 階

福岡県社会保障推進協議会（会長 武田正勝）

紹介議員：荒川徹議員（北九州市）

川上誠一議員（芦屋町）

審査結果：不採択

(7) その他

広域連合議会議員の異動

筑後市：【旧】桑野照史（市長） 【新】中村征一（市長）

八女市： 【新】松延外喜（市議会議長）

糸島市：【旧】松本嶺男（前原市長） 【新】松本嶺男（糸島市長）

例月出納検査（平成 21 年 7 月～ 12 月分）の結果報告